

SDGs 探究学習 特化型プログラム

宮城県では、教育旅行先でもSDGs学習や探究学習が実践できるように、SDGs探究学習特化型プログラムを提供しています。
学校や児童・生徒が学びたいテーマに合ったプログラムをお選びいただけます。



学べるテーマ



**SDGs探究学習特化型プログラムのご相談・お申込みは
みやぎ教育旅行等コーディネート支援センターまで**
※各受入先への直接のお問合せはご遠慮ください。

みやぎ教育旅行等コーディネート支援センター (みやぎ観光復興支援センター)
〒980-8570 仙台市青葉区本町三丁目8-1 (公益社団法人 宮城県観光連盟内)
TEL 022-265-8722 FAX 022-211-2829 E-MAIL m-kyouiku@miyagi-kankou.or.jp

SDGs 探究学習特化型プログラムの流れ



1 申込み 催行6ヶ月前まで

お伝えいただくこと例

総合的な学習(探究)の時間と修学旅行での学びを結びつけたい。
探究の共通テーマがSDGs。旅行先の地域課題、解決の取り組み事例を学ばせたい。
郷土教育を推進している。自分たちの住む地域への愛着を持ってほしい。
地域の人たちとの対話を重視したい。 など

※申込みプログラムが決まっていない学校様には、学びたい内容に沿ったプログラムのご提案をいたします。

プログラム確定

2 事前学習の共有 催行2ヶ月前まで

共有内容例

- 事前学習のレポート
- 受入先への質問リスト
- 班ごとに立てた探究テーマ など
- ご提出物の内容は任意の形で構いません。

実施内容検討

3 プログラム実施(現地学習)

現地での講話やフィールドワーク、ワークショップなど、学びたい内容に沿ったプログラムを実施します。

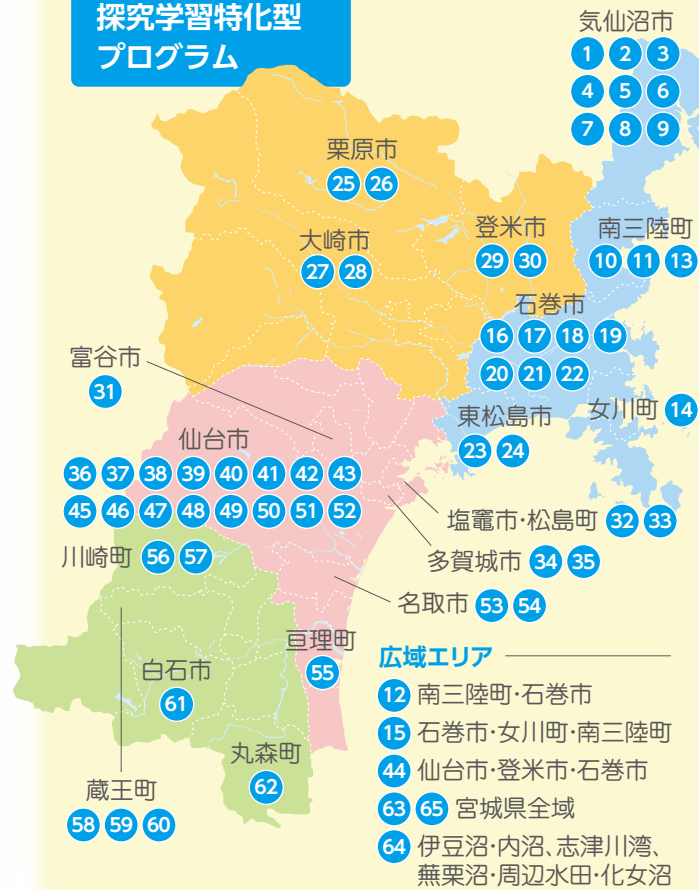
4 事後学習の共有 原則同年度内まで

共有内容例

- 学習発表用にまとめたスライドデータ
- まとめポスターのデータ
- オンライン発表 など

※ご提出いただいた個人情報は支援センター、受入先のみで保管いたします。

宮城県内のSDGs
探究学習特化型
プログラム



2 リアスの森バイオマスパワープラント(気仙沼地域エネルギー開発株式会社)
森林保全持続のため間伐材やプラントからの排出熱をエネルギーにする仕組みや人財育成について学ぶ

受入可能人数 20人(20人1グループか、10人の2グループ)
所要時間 基本コース60~90分

日本にない木質ガス化発電の技術をドイツから輸入した、地産地消型再生可能エネルギー(カーボンフリー)事業であります。この事業では、発電だけでなく豊かな山林を守ると同時に海の豊かさを守り、地域環境保全に貢献しております。また、林業の担い手作りを目的に林業研修も主催しています。
【座学(事業説明映像を観た後、質疑・応答)⇒プラント見学】

■受入可能期間/ 通年、休業日:土・日・祝・年末年始 ■料金/1時間の見学コース3,000円(1人)、半日コース1日コース、料金要相談(1日または半日のSDGsの特別プログラムの内容・料金要相談) ■該当市町村/ 気仙沼市



3 NPO法人浜わらす
海洋ゴミが自然環境や海の生態系に及ぼす影響を学ぶ

受入可能人数 10~45人
所要時間 約120分

世界中で問題となっている海洋ゴミ。このプログラムでは、全員でビーチクリーンを行った後、拾ったプラスチックゴミを使って自分だけのフォトフレーム作りを行います。一連の体験をとおして日々の生活で出ているゴミが自然環境や海の生態系に大きな影響を与えていることを学びます。【座学・フィールドワーク】

■受入可能期間/ 通年(場合によりお断りする時があります)、休業日:土・日・祝 ■料金/2,000円(1人) ■該当市町村/ 気仙沼市



1 株式会社男山本店
お酒造りの現場見学を通し日本人と日本酒の関わりや拘りを学ぶ



受入可能人数 4~20名
所要時間 50分

日本酒が出来るまでの工程の説明と実際に酒造りの現場の見学を通して、

①水田と日本人・水との関係、
②地域の風土、歴史、文化の伝承、
③日本人の知恵・技の伝承、
④容器リサイクルなどの環境問題への取組、等について学んでもらう。
【座学と工場見学】

■受入可能期間/ 通年10:00~16:00(但し5月~8月は製造が休みなので座学主体)・要予約、休業日:土・日・祝
■料金/無料 ■該当市町村/ 気仙沼市

4 アサヤ株式会社
漁業の基礎となる漁具を通じて「海の豊かさを守る」を学ぶ

受入可能人数 10~45人
所要時間 約60分

1850年に創業した当社は、取り扱っている漁具の数は3万点以上。捕る魚に適した漁具を使用することは、持続可能な漁業(海洋資源の保全)のためには不可欠です。このプログラムでは、スタッフの説明のもと様々な漁具を知ることにより漁業の基礎となる漁具の部分でも「海の豊かさを守る」考え方が取り入れられていることを学ぶことができます。【工場見学しながら説明を受ける】

■受入可能期間/ 通年(ただし、社内の都合によりお断りする場合があります)、休業日:土・日・祝 ■料金/20,000円(1団体) ■該当市町村/ 気仙沼市内



5 株式会社岡本製氷冷凍工場
鮮度の良い魚を提供するための氷、氷が豊かな海を守るへのつながりを学ぶ

受入可能人数 21~45人
所要時間 約70分

気仙沼市の水産業を支える製氷工場、日々氷を追求しています。鮮度の良い美味しい魚を食べる事が水産業の発展を促し、それが持続的に魚を供給するための資源・環境保全へとつながっていきます。そして、高度な製氷技術を用いて作った氷の水族館をご見学いただきます。
【工場見学しながら説明を受ける+氷の水族館見学】

■受入可能期間/ 通年(社内の都合によりお断りする場合があります)、休業日:土・日・祝 ■料金/1,700円(1人) ■該当市町村/ 気仙沼市



6 気仙沼ほてい株式会社本社工場
食の安全安心の対応・環境への配慮・地域社会との共存共栄を学ぶ

受入可能人数 最大20人
所要時間 30~60分

気仙沼港の水産資源を活かし、多品種小ロット生産と幅広い加工品の生産を可能にすると共に、「食の安全安心への対応」や「環境への配慮」をコンセプトとして再建しました。また、地域社会と共存共栄を目指し生産の各工程をご覧いただける見学専用通路を設置しました。近隣の小・中・高生の社会学習や自治会・公民館行事等で来訪見学されております。
【座学・工場見学(会場が取れない場合は見学中の説明になります。)】

■受入可能期間/ 通年10:00~15:00、休業日:土・日・祝
■料金/無料 ■該当市町村/ 気仙沼市



7 宮城県気仙沼向洋高等学校
【水産・工業等専門教科の実験・実習を通して、学ぶこと・働くこと】について学ぶ

受入可能人数 最大40人(1グループ40人、3グループまで)
所要時間 60分

本校は、専門高校として授業や実習を通じて技術の習得や資格取得を目指します。「自ら学び、学びを活用し、表現できる目標達成に向けて努力し続ける生徒の育成」「多様な人々と協働できる社会性をもった生徒の育成」に取り組み、卒業後は地域の活性化に貢献できる産業人の育成を行っております。
本校教育への理解と進路意識の育成を図り、専門学科の施設・設備を小・中学生を対象に、水産・工業等専門教科の実験・実習活動を体験していただきます。本校の見学・体験を通して、「学ぶこと・働くこと」について学習します。
【学校(学科)説明約20分+校舎見学約40分(体験学習含む各体験20~30分)】

■受入可能期間/ 土日、長期休業中などの生徒の授業に影響のない日 ※平日は、要相談
■料金/無料 ■該当市町村/ 気仙沼市



8 株式会社ミヤカン
環境に配慮した製造・働きがいや人財育成などを学ぶ

受入可能人数 30人まで
所要時間 30~60分

製造工程での魚原料の持続的な確保や残渣活用、水産加工業に従事する人たちの働きがいや人財育成への取り組み、クリーンエネルギー源としての太陽光発電など、安全・安心な食を提供している内容を学んでいただきます。

①工場屋上での太陽光発電
②気仙沼の水産加工業に従事する人たち
③若い世代の減少、地元離れ、技能実習生
④魚原料の確保、無駄のない製造(残渣の活用)
【座学・工場見学】

■受入可能期間/ 平日(月~金)10:00~16:00 ■料金/無料
■該当市町村/ 気仙沼市



9 気仙沼市水産振興センター、遠洋まぐろ延縄漁船(一社)宮城県北部延縄漁業組合
世界の海洋資源や日本の水産業の問題を漁師の方から学ぶ

受入可能人数 お問い合わせ下さい。
所要時間 講話込みで2時間程度

気仙沼の漁業について~
東日本最大のまぐろ漁船の基地「気仙沼港」で、遠洋まぐろ漁船を見学しながら元漁師からの体験談やミナミマグロ寿司の試食体験、船主・地元漁業団体等からの気仙沼の漁業についての講話等、五感をフルに活用した体験を通じて、日本の漁業の課題や水産資源の問題について、深く考えるきっかけになるかと思えます。①元漁師からの体験談や漁法についてのガイドを受けながら船の食堂でのミナミマグロ寿司の試食等が体験できる【漁船見学会】 ②出港岸壁から出漁する船を見送る気仙沼の伝統行事に参加できる【出船送り】 ③水産情報発信施設の見学や「気仙沼の漁業」「水産資源」についての講話他【座学・漁船見学/座学・出船送り】

■受入可能期間/ お問い合わせ下さい(見学可能船が気仙沼港にいない場合は不可)、休業日:日・祝
■料金/無料 ■該当市町村/ 気仙沼市



10 南三陸SDGsアクティブラーニング

1 環境学習～漁船にて養殖場見学付き

受入可能人数 10～40人 ※最大人数については別途ご相談ください。
所要時間 150～200分

生きる上で欠かせない「食」

実は、参加者自身へ直結しているかもしれない「食」に関する課題を、南三陸町の漁業・海の環境を通して考えます。養殖現場を見学し、現役漁師から直接話を聞くことで見えてくる身近な課題。現地で生の声を聞き、肌で感じたからこそ湧き上がる考えを自分ごとに置き換え、解決策に思いをめぐらせます。グループディスカッションから発表まで行い、他のアイデアにも触れることでさらに深い探究へとつながります。

- 1.レクチャー(志津川湾の環境・養殖現場の事前レクチャー):20分
- 2.フィールドワーク(漁船に乗船し養殖現場見学):60分
- 3.ワークショップ(個人ワーク・グループワークを経て発表):120分

■受入可能期間/通年(事前予約制) ■料金/7,700円
■該当市町村/南三陸町

2 海と食の未来を守るには?

受入可能人数 20～80人
所要時間 150～180分

「君たちの選択が未来をつくる!」

売り手よし、買い手よし、世間よし、自然資本よしの「四方よし」と漁業革命とのコラボを実現させるには?魚がとれない未来や今後待ち受けるであろうタンパク質競争など、自身にふりかかる現状を認識し課題に向き合うプログラムです。

- 1.イントロダクション(現状認識):15分
- 2.インプット(震災をバネに実現したカキ養殖改革を学ぶ):40分
- 3.グループワーク(起業家になりきって事業で社会課題を解決しよう!):90～120分
- 4.振り返り(今日の学びを振り返る):10～15分

■受入可能期間/通年(事前予約制) ■料金/3,300円
■該当市町村/南三陸町



3 ゴミから持続可能な未来を考える

受入可能人数 20～80人
所要時間 120分

南三陸町のバイオマス都市構想の取り組みから環境を考えるアクティブラーニングプログラム。自分たちが何気なく捨てているゴミについて考え、普段の生活を環境視点に置き換えるシュミレーションを行います。講師の話やグループワークから、自身の行動が環境を守る行動へ、意識をめぐらせます。

- 1.イントロダクション・インプット(バイオマス都市構想および、循環型社会を目指す南三陸町についての説明・理解を深める):30分
- 2.グループワーク(身近な「ゴミ」について考える):40分
- 3.発表・まとめ・質疑応答(今日の学びを振り返る):50分

■受入可能期間/通年(事前予約制) ■料金/3,300円
■該当市町村/南三陸町

海の見える命の森実行委員会<南三陸ホテル観洋>

11 自然と生きていく。生きる力を学ぶ

《第6回ジャパン・ツーリズム・アワード入賞》
《令和3年度文部科学省青少年の体験活動推進企業 優秀賞受賞(2021年)》



受入可能人数 10～100人
所要時間 150分～

「生きる力」を育むには?

東日本大震災により、我々は様々な教訓と、災害に対する備え、そして「生きること」の根底には自然の支えがあることを学びました。この学びを後世への資産として、伝承と鎮魂の場所を作ることにより、我々自身もまた学びを深めるきっかけとなります。震災語り部や地域と森の案内人の話を聞き、森の整備や植樹活動により自然と触れ合う活動を通して、「自然と生きていく」ことの大切さを学んでいきましょう。

- ①海の見える命の森語り部ガイド(※②と連動する基本コース)
 - a.語り部ガイドと地域案内(30分)
 - b.語り部ガイドと森の案内(60分)
 - c.語り部ガイドと潮風トレイルコース案内(120分)
- ②避難所体験「食」食べることは生きること」石窯で手作りピザを作ろう

■受入可能期間/通年 9:00～17:00(事前予約制)
※天候などにより催行中止となる場合がございます。

■料金/①1,100円※道具の貸し出し料(銀、剪定はさみ)300円(1人)
②ピザ焼き体験1,100円※弁当に変更可
■該当市町村/南三陸町 ホテル観洋周辺



震災を風化させない!震災から学ぶ(語り部バス) <第3回ジャパン・ツーリズム・アワード大賞>

受入可能人数 最大人数バス12台
所要時間 70～120分(要相談)

南三陸町は、東日本大震災により甚大な被害を受けました。あれから10年余りが経過しましたが、まだまだ復興への道のりは遠く、今も多くの問題を抱えております。そのような事を実際に見て、聞いて感じた事を周りの方々に伝えて頂き今後の教訓として頂ければという思いで震災語り部バス、震災講話をしております。震災を知る事で、大切な人を守るために何が出来るかを考える「きっかけの場」としていただければと思います。※ホテルのスタッフ、町の方が自分の経験談などガイドしながら震災遺構などをめぐります。

■受入可能期間/通年(年中無休) ■料金/バス1台5,000円
■該当市町村/南三陸町内

12 海の多様な要素(海流・生態系・生物多様性・温暖化・海洋汚染など)を学ぶ

受入可能人数 1グループ40人程度(グループ数はプログラムによる)
所要時間 60～120分

海洋リテラシー(理解し活用できる能力)を育む、自然科学・環境学習となる室内体験プログラムです。子どもたちの学習機会においては発達段階に応じた内容を提供し、また大人の研修機会としても活用できます。海の多様な要素(海流・生態系・生物多様性・温暖化・海洋汚染など)にフォーカスして、海の保全と持続可能な活用を、実体験やゲームのアクティビティを通して楽しみながら考える内容となっています。また、社会・環境問題として顕在化して大きな問題となっている海洋ゴミ(特にプラスチックゴミ)について、その問題解決行動に移すことの重要性を伝えます。実際に海洋ゴミがどうなっているかを、ビーチクリーン活動を通して実感し、その問題が現実であることを実感してもらいます。

株式会社佐久

13 林業・木材生産を通し持続可能社会を考える

受入可能人数 5～15人
所要時間 60～180分

SDGsの考え方の参考にされているFSC(国際森林認証)山林を舞台に、環境・社会・経済のそれぞれに配慮した林業・木材生産を通して持続可能社会について一緒に考えてもらう山林ガイドツアー。【山林ガイドによる山林見学・座学/山林見学・間伐体験】

■受入可能期間/応相談(時期によってプログラムが変わります。)、休業日:不定休
■料金/3万円から(応相談)
■該当市町村/南三陸町



14 減災を意識した持続可能なまちづくりを学ぶ

受入可能人数 40人
所要時間 60分

東日本大震災で壊滅的な被害を受けましたが、新しく生まれ変わった町を共に巡りながら、減災を意識した持続可能なまちづくりを進めた女川町の復興を協会スタッフがガイドします。さらに、自分の住んでいる町で災害が起きたら、どのような被害があるか、今から準備できることはなにか...など、考える機会になるような案内を行います。

■受入可能期間/年中無休、9:00～17:00
■料金/500円(1人) ■該当市町村/女川町



15 海の豊かさを守ることを、一緒に考える

受入可能人数 100人(乗船体験は40人まで)
所要時間 60分～

当法人の活動内容を通して、海の豊かさを守るのに必要なことを一緒に考えていきたいと思います。エコラベルASC・MSC・CoC認証の取得、磯焼け対策、絵本「さかながいなくなっちゃうって!」を通じた啓蒙活動など開発目標に沿った座学・乗船体験。

■受入可能期間/通年、休業日:土・日・祝 ■料金/座学のみ(要相談)乗船体験4,400円(1人)～ ■該当市町村/石巻市・女川町・南三陸町



■受入可能期間/通年、休業日:火曜日・年末年始(応相談)
■料金/550円(1人)～プログラムによって異なる
※リモートや出張での事前授業も可能です(旅費・郵送料別途)
■該当市町村/南三陸町(南三陸・海のビジターセンター) 石巻市(石巻・川のビジターセンター) ※出張も可

石・森萬画館

16 マンガを活かしたまちづくりを学ぶ

受入可能人数 1グループ10人程度(最大3グループまで可)
所要時間 180分(石・森萬画館見学含む)

「住み続けられるまちづくり」の学習として「マンガを活かした街づくり」を題材に学習できるプランです。シンボル施設の石・森萬画館の見学、街づくり講話、そして石・森萬画館のスタッフが案内する石巻マンガロードツアー。マンガの街ならではの取り組みを紹介します。※講話「マンガを活かした街づくり」「マンガの王様・石・森章太郎について」等 【座学・フィールドワーク】

■受入可能期間/通年(9:00～)、休館日:火曜日※除外日あり、HP参照 ■料金/石・森萬画館観覧料(大人900円、中学生600円、小学生250円※20名以上団体料金) /ツアー及び講話:5,000円～(1グループ) ■該当市町村/石巻市内・石・森萬画館



17 石巻南浜復興祈念公園で自然環境問題・地域貢献活動を学ぶ

受入可能人数 最大100人位
所要時間 60～180分

津波で被災した地域につくられた公園で、森づくり活動や、テーマに沿った座学をしながら、自然環境問題や地域貢献活動を学びます。【座学・体験(植樹・森づくり等)】

■受入可能期間/通年
■料金/500円(1人)から
ランチ付きは1,500円
■該当市町村/石巻市 復興祈念公園内

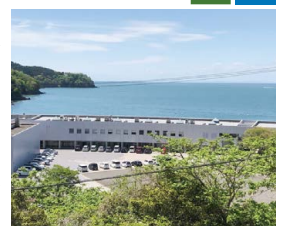


18 宮城の水産業や海洋環境を学ぶ

受入可能人数 最大40人程度
所要時間 1時間半程度

宮城県沿岸域を含む三陸沿岸海域は、寒流と暖流の影響を受ける複雑な海域で、「混合域」と呼ばれています。この海域は暖水性と冷水性の両方の魚介類が来遊する世界的にも豊かな漁場でもあります。この恵まれた海域で営まれている水産業や海洋環境の理解を深めます。【職員による講話:30分～1時間・施設見学:30分】

■受入可能期間/通年(平日、事前予約制)※月1回程度の対応となります
■料金/無料 ■該当市町村/石巻市



おしかホエールランド

19 牡鹿半島沖に生息する鯨類を通して 宮城県海と海洋生物への理解を深める

受入可能人数 最大20人まで
所要時間 60~90分

館内に展示してある全身骨格標本を材料に、鯨類の体のつくりについて学びます。その後、牡鹿半島に漂着した小型ハクジラ類(イルカ)の骨の標本を使い、実際に標本の組み立て作業を行い、鯨類の体の仕組みを通して海洋生物への関心を高め、海洋への理解を深めます。

1. 鯨類についてのレクチャー:15分
2. 館内に展示している骨格標本の観察(解説を含みます):15分
3. 実際の鯨類標本を用いた骨の組み立て作業:30分~1時間程度

■受入可能期間/通年、休業日:水曜日(水曜日が祝日の場合は翌平日)
■料金/無料*入館料は別途必要です ■該当市町村/石巻市



石巻専修大学

20 持続可能な社会に向けた取り組みを 地域で学ぼう

1 ロードキルについて学ぼう

受入可能人数 最大30人
所要時間 120分

野生動物の交通事故(ロードキル)は、全国的な問題となっています。本プログラムでは、宮城県石巻市のロードキルの現状について、私たちの調査結果をもとに解説し、事故死した動物から製作した骨格標本など、関連資料を見学していただきます。このプログラムを通じて、身近な野生動物問題に接していただき「ヒトと動物が共存できるまち」のあり方について、考えてほしいと思います。

■受入可能期間/8月上旬~9月中旬、12月下旬~1月上旬、3月上~中旬※期間中は応相談 ■料金/無料 ■該当市町村/石巻市



2 自分の手の動きをロボットハンドに再現してみよう 遠隔操作ロボットの仕組みを学ぶ

受入可能人数 最大5人
所要時間 150分

ロボットハンドを実際に動かして体験してもらい、実習と講義を通してプログラミングからロボットの基礎的な仕組みを学びます。本研究室で開発したロボットは、特殊な手袋で自分の手の動きをロボットハンドに再現する「遠隔操作ロボット」であり、様々な場面で使用できることを期待しています。例えば、人身的に危険な作業をロボットにさせることです。人間が遠隔操作でロボットを動かし、社会的貢献につなぐ用途について考えます。

■受入可能期間/応相談 ■料金/無料 ■該当市町村/石巻市



株式会社 齋武商店 本社 三河町工場

21 モノを大切にすると マテリアルリサイクルの「リアル」

受入可能人数 最大60人
所要時間 30~60分

「3R」という言葉はよく聞きますが、その「リサイクル」の部分で、各家庭・企業から排出されたマテリアルリサイクルの原料がどのようなプロセスを経て、製鉄工場(鉄スクラップ、非鉄スクラップ)、製紙工場へ搬入され、再利用されるかの理解の一助となると思います。それに伴い、モノを大切にするとマテリアルリサイクルの「リアル」を体験していただきたいと思います。ゴールに対する紐付けは6目標で以下の項目です。

1. 質の高い教育をみんなに
再生品の利用、マテリアルリサイクルを学べる教育の機会を提供する
2. 住み続けられるまちづくりを
使用済みの製品(廃棄物)の分別をして再利用を図り、資源の有効活用を図る

3 地域に興味を持ち、 地域を元気づけるための方法を身につける

受入可能人数 最大10人(2グループまで)
所要時間 120分

東松島市の特産品である「海苔」の魅力を知りやすくかつ明確に形成し、東松島市だけではなく、国内外に「東松島産海苔の良さ・魅力を広める」ことを目的として取り組んだ活動を紹介いたします。そして、本活動を行っている学生と一緒に海苔を使った新製品開発を議論しながら、実際に制作してみましょう。

■受入可能期間/8月の夏休み・2月の春休み
■料金/施設利用料と原材料費(※要相談) ■該当市町村/石巻市



4 「住んでよし、訪れてよし」のまちづくりを学ぶ

受入可能人数 最大10人(2グループまで)
所要時間 120分

観光客が魅力を感じるポイントは、「地域の暮らし」です。その「暮らし」を豊かにするためには、住民が地域の魅力に気づき、楽しむ必要があります。庄子ゼミでは、里山保全および冬・夜の賑わい創出のため竹を活用したイベント「竹こもればナイト」の実施やまち歩きコースの作成などを行ってきました。「地域の魅力をどう引き出し活用していくか」について、これまでの取り組み紹介、まち歩きやワークショップを通して、学んでいきます。

■受入可能期間/火曜日 13:30~17:30(他曜日は要相談)
■料金/無料予定(別途会場費、施設見学費がかかる場合があります)
■該当市町村/石巻市



3. つくる責任 つかう責任
消費者の持続可能な社会形成への参画意識を醸成する
4. 気候変動に具体的な対策を
ごみの資源化による脱炭素社会の実現に貢献する
5. 陸の豊かさを守ろう
紙リサイクルの役割→森林資源の持続可能な利用に貢献する
鉄リサイクル→鉱物資源(石炭、鉄鉱石)の持続可能な利用と削減に貢献する
6. パートナーシップで目標を達成しよう
多様なステイクホルダー(市民、企業、団体)が連携し、持続可能な社会を実現する
■受入可能期間/通年 休業日:土・日・祝祭日 ■料金/無料 ■該当市町村/石巻市

宮城県水産高等学校

22 豊かな三陸沖で「船・漁・食」を通して SDGsについて学ぶ

水産高校は、海に生業を求める人材育成・水産・海洋関連産業の担い手育成が大きな目標です。本校で行っている食品加工業地等の学習や実習、船舶従事者の後継者育成もこのうちの一つです。

1 「魚食文化・郷土料理の普及」「鯨食文化の食育」体験学習

受入可能人数 最大20人
所要時間 60~180分

「魚食文化・郷土料理の普及」
石巻地域の魚食に関する歴史や文化の成り立ちを学習し、調理実習の体験をとおして、魚介類に関する知識を学ぶことができます。また、郷土料理を製作することで地域に伝わる伝統食や地元の食文化を学びます。

「鯨食文化の食育」
かつて捕鯨は昭和の食卓を支えた産業でもあり、現代においても他の水産資源量を適正化し、持続可能な水産業を実現するためには必要不可欠な産業です。地域に伝わる鯨肉の調理実習を体験することで鯨を身近に感じたり、地域の鯨食文化について学びます。

■受入可能期間/要相談 休業日:土日祝日、年末年始、お盆の頃、3月及び学校行事がある場合 ■料金/要相談 ■該当市町村/石巻市

2 「食品工場見学と思い出缶詰づくり」体験学習

受入可能人数 最大20人
所要時間 60分

水産加工業を含む食品製造業は、人間の生活に不可欠であり、日本の食品加工技術は今後考えられる食糧不足等の解決に寄与するものである。

今回の体験では、缶詰の歴史や構造原理を学習するとともに、実際に缶詰が出来る工程を体験して頂きます。缶詰についての学びを通して、人類が培ってきた食に関する技術を感じてください。

■受入可能期間/要相談 休業日:土日祝日、年末年始、お盆の頃、3月及び学校行事がある場合 ■料金/要相談 ■該当市町村/石巻市

3 「船用エンジン始動」体験学習

受入可能人数 最大20人
所要時間 60分

船舶は、将来の日本の食料問題(漁船による水産物生産)及びモーダルシフトに代表される物流に関する問題(商船による物流)等の解決に寄与することが期待されています。

今回の体験学習では、船舶で使用される大型エンジンの始動、運転を実施します。エンジンの運転をとおして船舶が将来にわたって私たちの生活を支える存在であることを感じてください。

■受入可能期間/要相談 休業日:土日祝日、年末年始、お盆の頃、3月及び学校行事がある場合 ■料金/無料 ■該当市町村/石巻市

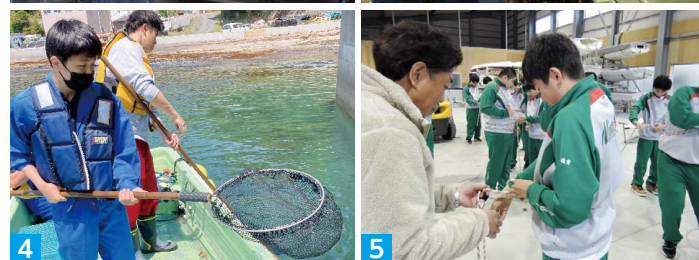
KIBOTCHA(キボツチャ)

23 地球の恵みを無駄なく頂く大切さを伝える

受入可能人数 最大200人(1グループ40人)
所要時間 約120分

牡蠣の養殖棚に使用された廃棄される竹を再利用して竹あかりを作成、竹あかりの寿命を終えた竹を竹炭にして農園の土壌改良に使用、農園で収穫された野菜を体内に戻す。「竹あかり制作」「竹炭の制作」を体験して頂きます。【座学・フィールドワーク・体験】

■受入可能期間/通年、休業日:毎週火曜日(祝日の場合は翌日)
■料金/1,650円、お持ち帰り場合は、2,200円になります。
■該当市町村/東松島市



4 「地引き網・かご上げ体験・栽培漁業 実習場見学」体験学習

受入可能人数 最大20人
所要時間 60~180分

海洋生物に直接触れ、採集、測定、形態観察、飼育などの基礎的な知識、実験や観察を通して魚を知ってもらうことをねらいとしています。

今回の体験学習では、地引き網やかごあげ体験を実施します。また、栽培漁業実習場の見学により水産資源の持続的有効利用についての内容を理解してもらいます。

■受入可能期間/要相談 休業日:土日祝日、年末年始、お盆の頃、3月及び学校行事がある場合 ■料金/無料 ■該当市町村/石巻市

5 「ロープワーク」体験学習

受入可能人数 最大20人
所要時間 60分

船舶は、将来の日本の食料問題(漁船による水産物生産)及びモーダルシフトに代表される物流に関する問題(商船による物流)等の解決に寄与することが期待されています。

今回の体験学習では、船舶での作業の基本であるロープワーク(ロープの結び方、つなぎ方)を実施します。ロープワークをとおして船舶が将来にわたって日本を支える重要な役割を担うことを感じてください。

■受入可能期間/要相談 休業日:土日祝日、年末年始、お盆の頃、3月及び学校行事がある場合 ■料金/無料 ■該当市町村/石巻市

宮城県松島自然の家

24 防災クッキングを通して節水や省エネについて学ぶ

受入可能人数 最大80人程度(16グループまで)
所要時間 90~120分

災害発生等の非常時を想定し、限られた水とエネルギーを使ったポリ袋クッキングなどを体験します。節水や省エネへの意識が高まるとともに、日常生活への適用も期待できる内容です。「ごはん」「オムレツ」「シチュー」「ポトサラダ」などメニューも豊富で、あたたかい食事の大切さを感じ取る活動です。

■受入可能期間/通年、休業日:月曜日・年末年始・年度末年度始
■料金/野外炊飯棟使用料20円(1人)、食材は団体で準備願います。
■該当市町村/東松島市

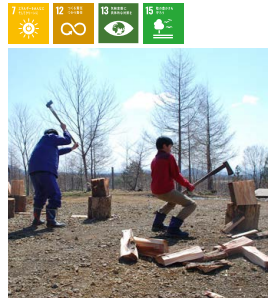


25 栗駒山麓の豊かな森で気候変動に対する
具体策や循環型の暮らしを学ぶ

受入可能人数 20人
所要時間 5時間

「世界谷地湿原・ブナの森ガイドトレッキングと循環型の暮らしづくり体験」栗駒山の中腹にある「世界谷地湿原・ブナの森」をガイドトレッキングで歩きます。その後、くりこま高原自然学校に移動して、自然学校が取り組む循環型の暮らしを紹介し、その一部を体験します。(家畜のいる暮らし、畑、薪を使う暮らしなど)
【ガイドとトレッキング・暮らし体験】

■受入可能期間／通年(先着制なので要問合せ)、休業日:不定休
■料金／5,500円(1人) ■該当市町村／栗原市



26 栗駒山麓ジオパークビジターセンター
栗駒山麓で起こった過去の自然災害から、
自然への想像力と地球を守る気持ちを養う

受入可能人数 100人
所要時間 60~180分

栗駒山麓ジオパークビジターセンターでは、パネル展示やシアター映像などから、栗駒山麓の大地のなりたちや、自然災害を乗り越え豊かな文化を育んできた人々の営みを知ることができます。また、館内見学やフィールド学習・体験を通して、質の高い教育をみなさんに提供する取り組みを進めています。
【座学・センター見学・フィールド学習】

■受入可能期間／通年、休館日:火曜日(祝日の場合は翌平日)・年末年始(12月29日~1月3日)を除く※山間部のフィールド学習は12月~4月末まで不可 ■料金／ガイド料2,000円(1人/1時間あたり)ビジターセンター入館無料 ■該当市町村／栗原市



27 みやぎ大崎観光公社
世界農業遺産『大崎耕土』



世界農業遺産とは
社会の環境に応じて何世代にもわたり継承されてきた特色のある伝統的な農林水産業と、それに密接に関わって育まれた文化・景観・農業と関りのある生物多様性などが相互に関連して一体となった、世界的に重要な仕組みを、国際連合食糧農業機関が認定する制度です。

大崎耕土とは
江合川・鳴瀬川、2つの河川流域に広がる河川氾濫原を拓き、広域の水田農業地帯として発展してきた地域です。



1 世界農業遺産に認定された大崎耕土で
生物多様性と自然との共生を学ぶ

受入可能人数 最大40人
所要時間 約3時間※移動時間も含む

ラムサール条約湿地「化女沼」は水鳥の重要な越冬地で、NPO法人団体による保全活動により多種多様な水草、四季折々の草花が見られます。そして、世界農業遺産に認定された広大な「大崎耕土」の中に浮かぶ森のような屋敷林「居久根(いぐね)」の居久根は、雨風から家を守るだけでなく、その敷地内の庭や畑を守り、またそこに住む様々な生き物たちの生息の場としての機能を果たしています。本プログラムでは、「化女沼」保全団体のガイドのもと植物と環境保全について、「居久根」の役割やそこの生活を学ぶことにより、先人の知恵を次世代へ継承していきます。

◎説明(化女沼ダム観光資料館30分程度) ◎散策(化女沼と化女沼環境ゾーン90分程度) ◎居久根の説明・散策(30分) ◎総括(10分)

■受入可能期間／通年 ■料金／1,000円~(1人)
■該当市町村／大崎市(みやぎ大崎観光公社)



2 世界農業遺産の地で育まれた食文化を学ぶ

受入可能人数 最大40人 所要時間 約90分

農家の「ごっつおう(ご馳走)といえは餅で、古くからお祭りやお祝い事、おもてなしなどの行事食として食べられてきました。特に全国トップクラスの生産量を誇る大豆を使った伝統食「ずんだ」を使った「ずんだ餅」は有名で、この「ずんだ餅」づくりを通して、世界農業遺産の食文化や、食の大切さを学びます。

◎説明【5分】 ◎ずんだ餅づくり体験【60分】 ◎実食【20分】 ◎総括【5分】

■受入可能期間／通年 ■料金／2,000円(1人)※別途会場代、会場設置費がかかります。 ■該当市町村／大崎市(みやぎ大崎観光公社)



3 世界かんがい施設遺産「内川」周辺の
フィールドワークを通して水管理システムを学ぶ

受入可能人数 最大40人
所要時間 約3時間

大崎耕土は、季節風「やませ」や洪水、水不足など、米作りをするには厳しい地域ですが、水路の開拓や洪水対応など、苦勞を重ねながら、水を巧みに管理する「水管理システム」を構築しました。本プログラムでは、伊達政宗公が切り開き、現在は世界かんがい施設遺産に登録される「内川」周辺のフィールドワークを通して、現在も引き継がれる「水管理システム」について学び、先人の知恵を「生きた遺産」として未来へ引き継ぎます。

◎説明【10分】 ◎内川周辺のフィールドワーク(内川・旧有備館及び庭園等)【160分程度】 ◎総括【10分】

■受入可能期間／通年 ■料金／1,000円~(1人)
■該当市町村／大崎市(みやぎ大崎観光公社)

28 鳴子温泉もりたびの会
鳴子温泉で循環型森林
【森の循環・水の循環】を学ぶ



1 新しい森の循環

受入可能人数 7~20人
所要時間 90~120分

鳴子温泉では建材や工芸品に加えて、エネルギーとして木材を利用する、新しい森の活用が始まっています。「サステナヴィレッジ」と名付けられた地域産材で作られた集合住宅では、未利用材で電気と熱を作り、暮らしのエネルギーとして住宅に供給しています。建材や燃料となる木材を供給するのは、「エコラの森」。100年の森づくりに取り組む林業の現場で、こけしの材になるミズキの植林も行われています。

◎サステナヴィレッジの見学:1.5時間
◎エコラの森のもり歩き:2時間

■受入可能期間／通年(応相談)
■料金／各3,300円 ■該当市町村／大崎市鳴子温泉

29 地域資源の付加価値化を学ぶ
〈地産地消等優良活動表彰 農林水産大臣賞受賞〉

1 農業の6次産業化と新しい地域づくりを考える

受入可能人数 10人~
所要時間 60分~

地域資源を活用した「生産~加工~販売」の6次産業化の取り組みと、地域住民を主役にした新しい農村産業モデルについて学ぶプログラムです。

■受入可能期間／通年、休業日:年末年始 ■料金／1,100円(1人)ソーセージの試食付き
■該当市町村／登米市 伊豆沼周辺

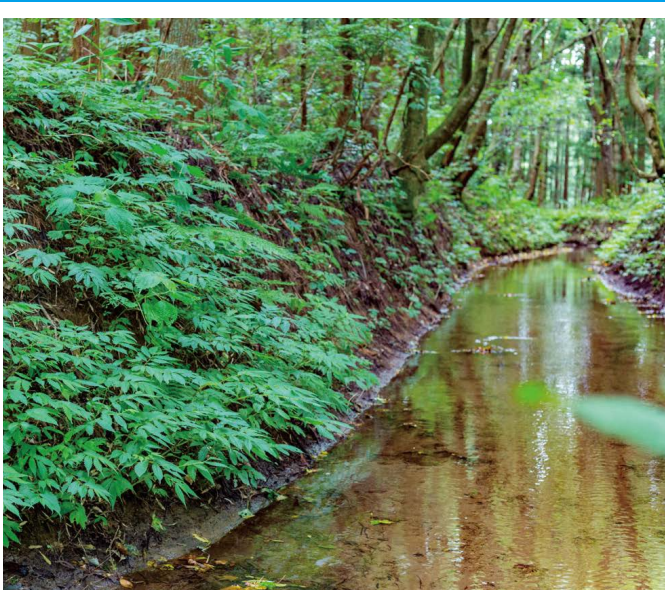


2 地域の食文化にふれる食農体験

受入可能人数 10人~ 所要時間 90分~

地元食材を使った調理体験を通して、農産物の生産現場を知り、食べ物がつくられる工程や地域の食文化を学びます。体験内容は手づくりウインナーまたは郷土料理体験(はっと料理)を選択できます。

■受入可能期間／通年、休業日:年末年始 ■料金／2,200円(1人)
■該当市町村／登米市 伊豆沼周辺



2 歴史を重ねた水の循環

受入可能人数 7~20人
所要時間 90~120分

「もり」は私たちの暮らしに欠かせない水も生み出します。大崎地域では、豊かな水資源を活かし、水田農業によって生産を維持してきました。鳴子温泉には1640年代の築造以来、地域経済を支え続ける水路「南原穴堰」があります。水は時として洪水や干ばつ等の災害を引き起こしますが、「鳴子ダム」が大崎耕土の暮らしの安全を守っています。また、森に浸透した水は、地熱と出会い温泉となって地上に湧き、私たちに癒してくれます。

◎南原穴堰の見学:1.5時間
◎鳴子ダム直下のウォーキング:2時間

■受入可能期間／通年(応相談)
■料金／各3,300円 ■該当市町村／大崎市鳴子温泉

30 もくもくハウス
未来を創る子供たちに木の文化を伝える



受入可能人数 最大30人
所要時間 40~60分

木工クラフト品のデパート「もくもくハウス」。杉の間伐材利用から始まった矢羽細工など、多彩な木工品の製作・販売を手掛けています。木工の体験教室では、クラフトキットを使って、木工品を作ることができます。木の優しい温もりを感じ、ものづくりの楽しさを味わってください。これからの未来を創る子どもたちが、木に興味を持ち、森林問題について考えるきっかけになればと思います。

■受入可能期間／通年(事前予約制)、休業日:年末年始
■料金／660~1,320円 ■該当市町村／登米市

特定非営利活動法人ふうどばんく東北AGAIN

31 フードバンクや子ども食堂支援・地域コミュニティ(居場所づくり)などについて学ぶ

受入可能人数 10人
所要時間 60~90分

2008年に設立した東北一古いフードバンク団体として、東日本大震災での被災者支援・コロナ禍の困窮者支援を経て、14年目を迎えました。開発目標ができる前から活躍してきた当団体ですがとても関係が深く、昨今はゼロカーボン運動やフードロス削減の観点からも注目を集めています。フードバンクの話から、フードバンク活動をめぐるコミュニティの作り方、今私たちに何ができるか?を座学や事務所見学を通して一緒に考えます。

■受入可能期間/平日10:00~15:00 休業日:土日祝日
■料金/応相談 ■該当市町村/富谷市



丸山松島汽船株式会社

32 東日本大震災松島地域の伝承と減災防災を学ぶ・松島湾の養殖産業を学ぶ

受入可能人数 最大430人
所要時間 約50分~

自分を取り巻く地域全体との拘わり、その繋がり、大切さ、自分の想いをその時に伝える事の大切さ、防災・減災に繋がる伝承等を学びます。※遊覧船の中で震災防災についての座学※松島湾の養殖産業・農業についての座学 遊覧船の中でカキ養殖を中心とした座学(カキみき現場、外から見学可)、遊覧船の中で仙台白菜の歴史などの座学(野々島にてフィールドワーク可)※シーズンにより不可の場合あり

■受入可能期間/通年、休業日:無休※荒天時運休 ■料金/小学生 680円(引率教職員同額) 中・高・大学 1,050円(引率教職員同額) ■該当市町村/塩竈市・松島町



仙台大学附属明成高等学校 食文化創志科(塩竈市浦戸野々島白菜採種圃場)

33 「伝統の食文化と松島白菜の採種文化の保存活動」について学ぶ

受入可能人数 5~30人
所要時間 120分~(島内での活動)

仙台大明成高校食文化創志科では、2011年の秋から震災被災地である塩竈市の浦戸野々島にて「松島白菜の採種文化の保存活動」に取り組んでいます。同校の生徒らが地域との協働で進める地域伝統の食文化資源を活用したこの「新しいふるさとづくり」の活動も11年目を迎えました。食の学びの島にお越しいただき、自然と人の関わりから生まれる食の「豊かさ」を体験してください。

■受入可能期間/通年(事前予約制) ■料金/資料代として300円(別途塩竈市営汽船往復乗船料1,160円)※昼食などの手配や食文化交流授業も可能です。 ■該当市町村/塩竈市



株式会社TBM 多賀城工場

34 宮城で生まれた新素材を通じて持続可能な未来を考える

受入可能人数 製造エリア:6人・見学通路:20人
(※製造エリアへの入場は中学生以上とします)

所要時間 製造エリア:60分程度・見学通路:30分程度

TBMは、「進みたい未来に、橋を架ける」をミッションに掲げ、未来を見据えた様々な事業に取り組んでいます。身の回りのプラスチックや紙の代替となる新素材「LIMEX(ライメックス)」は、水や石油などの希少な資源の保全、温室効果ガスの抑制、回収・循環による廃プラスチック問題等の解決に貢献できます。宮城で生まれた新素材の生産現場の見学を通して、地球の未来を守るための選択肢について考えます。

■受入可能期間/平日(月~金、10:00~15:00) ■料金/無料 ■該当市町村/多賀城市



さんみらい多賀城・復興団地

35 新たな価値を創造する防災・減災拠点



受入可能人数 応相談(概ね20人以上から)
所要時間 60分~

東日本大震災で大きな被害を受けた多賀城市が、その経験を活かして造成した「さんみらい多賀城・復興団地」。災害時には一時的な避難場所機能や物資の提供を發揮し、また被災した企業が操業を継続できるよう立地企業による被災企業への支援機能を有します。造成した経緯を説明した後、立地企業や、被災時に備蓄品や支援物資の発送拠点等となる「さんみらい多賀城イベントプラザ(STEP)」がある団地内を歩きます。

■受入可能期間/平日10:00~15:00
※ただし、業務の都合により希望に沿えない場合があります。
■料金/無料 ■該当市町村/多賀城市

せんだい農業園芸センター みどりの社

36 「みどりの大切さ」を知ろう

受入可能人数 5~60人程度
所要時間 50~90分

「せんだい農業園芸センター みどりの社」は都市からほど近い公園施設でありながら、多様な自然環境や農業環境を目にすることができます。また、東日本大震災被災地(津波被災地)でもあります。園内をガイドと共に散策しながら、自然と人との交流拠点である公園の在り方や、震災後の経過の一端について学ぶことができます。

【座学:約15分・フィールドワーク(園内散策:約35分、農業・園芸体験(要相談):約40分)】

■受入可能期間/通年、休業日:月曜日(月曜祝日の場合は翌平日)、年末年始
■料金/要相談 ■該当市町村/仙台市



仙台うみの杜水族館

37 バックヤード見学を通して、水族館における生態飼育の方法や展示の工夫を学ぶ

受入可能人数 各回40人(20人×2班)は1日3回 ※1か月前まで予約が必要です。 ※当日の状況により、ご案内する場合は変更となる可能性がございます。

所要時間 90~120分(館内見学) 体験30分

水族館の裏側「バックヤード」の見学を通して、児童や生徒を対象に、海や海の生きものについてご案内いたします。①冷凍庫…飼料の保存だけじゃない餌の種類と冷凍の理由 ②標本棚…どんなさわり心地?生態を標本化する意味と個体特徴の解説 ③屋上…屋根がない水槽より自然環境に近い生体展示へのこだわり 見学の中で生まれた疑問にスタッフがお答えします。学習を通して、より深い学びと海の持つ恵み・豊かさを学んでいきましょう。

■受入可能期間/通年、休業日:なし
■料金/100円(1人)※入館料は別途必要です ■該当市町村/仙台市



東北大学災害科学国際研究所「みちのく震録伝」

38 自然災害とSDGsの関わりを学ぶ



受入可能人数 最大80人
所要時間 30~180分

2011年東日本大震災で被災を受けた東日本では、SDGsの試みが様々な場所で行われております。自然災害とSDGsがどのような関わりがあるかを17の目標を説明しながら関係性について講義を行います。

【座学:災害科学の専門家による考察と震災記録を用いた具体的な解説により、様々な角度から東日本大震災を学ぶことができます。】

■受入可能期間/通年 休業日:土・日・祝
■料金/無料※コロナ禍の状況では20人以上、通常時40人以上の場合、5,000円の室料が必要になります
■該当市町村/仙台市 県内派遣可

宮城教育大学防災教育研修機構(311いのちを守る教育研修機構)

39 震災教訓を伝え継ぎ、未来の地域づくりに活かす

受入可能人数 最大80人(応相談)
所要時間 1時間30分~ 場所は本学キャンパス内か沿岸被災地等(応相談)

東日本大震災の被災地にある教員養成大学として、震災の経験・教訓の伝承に取り組んでいます。プログラムでは、大学教員による講義や地図等を用いた防災演習、被災地での学習を振り返るワークショップ等を行い、災害に強い持続可能な社会づくりのあり方をローカルとグローバルの視点で考えます。

【座学:30分・ワークショップ:60分(応相談)】

■受入可能期間/応相談 ■料金/別途相談 ■該当市町村/仙台市



東北地方ESD活動支援センター

40 SDGsの基礎知識と地域のESD事例を学ぶ

受入可能人数 6~200名
所要時間 40~90分(応相談)

ESD活動支援センターはESD活動を応援するため、文科省と環境省が連携して誕生した組織です。ESDやSDGsの基本のキを学び、身近な話題をテーマに考える基礎講座やESD型プログラムの相談対応を行っています。SDGsの視点から暮らしや地域のことを見つめ直すことは多角的に物事をとらえるきっかけになります。SDGsが登場するまでの国際社会の歩みや、SDGs達成に向けた地域の取組事例など、講座の内容はお気軽にご相談ください。

■受入可能期間/通年、休業日:土日祝、お盆、年末年始
■料金/所要時間に応じて要相談 ■該当市町村/仙台市



東北福祉大学

41 多様なボランティアに取り組む学生との交流を通じて社会との関わり方を学ぶ



受入可能人数 80人まで(超える場合は応相談)
所要時間 90~120分

日本の福祉教育で草分け的な存在である本学では、多くの学生が、暮らしと生命に関わる多様なボランティアに参加し、社会課題の解決に取り組んでいます。本プログラムでは、学生との相互交流を通じて、児童生徒自らの可能性や社会との関わり方を考えるきっかけづくりを提供し、より良い社会を共に創造できる人材の育成を目指します。探究学習のテーマが、ボランティアや社会貢献に関する場合も対応可能ですのでご相談ください。

ワークショップ
5~10人程度の班に分かれ、学生がボランティア活動を始めた動機、内容、気づきや課題、児童生徒へのメッセージ等を発表、質疑応答や交流を行います。 ※学生が携わっているボランティアは、福祉、教育、防災、防犯、環境、地域振興など多岐にわたります。

■受入可能期間/月~金曜10:00~17:00
(学内行事のため受入不可の期間あり要相談)、休業日:土・日・祝
■料金/無料(学外実施の場合は会場代がかかります。)
■該当市町村/仙台市 県内派遣可

宮城大学太白キャンパス

42 持続可能で安定した食産業について学ぶ

受入可能人数 15人 ※体験開始から終了までの教員の引率をお願いします。
所要時間 120分程度

「食育」は、私たちにとって最も基本的で必要な行為であり、大いなる楽しみでもあります。その「食育」を支える食産業の、SDGs時代にふさわしいあり方を考えていきましょう。

【座学:50分・圃場や施設の見学:40分・ワークショップ(参加者意見交換・討論):30分】

■受入可能期間/通年(ただし、土日祝日・学生の試験期間中及び学内行事実施日を除く。その他、入試対応のため対応できない場合があります。) 休業日:土日祝日 ■料金/基本無料 ■該当市町村/仙台市



仙台管区気象台

43 気候変動について学ぶ(気象観測機器等の見学)

受入可能人数 最大10人程度
所要時間 60~90分程度

仙台管区気象台では、風向風速、気温、湿度、気圧、雨量、日照、積雪、降雪などを365日休まず観測しています。観測結果をもとに気温などがどのように変化しているのか、気温の変化が植物や地球環境などにどのように影響しているかなどを学べます。また、天気予報などを発表する場所をご案内し、作業内容等を説明します。

■受入可能期間/要相談(気象状況、地震等への緊急対応時、業務繁忙時には、対応できない場合がありますので予めご了承ください) ※新型コロナウイルス感染症拡大の状況によっては受付をお断りする場合がございます。 休業日:土・日・祝日・年末年始 ■料金/無料 ■該当市町村/仙台市



44 持続可能な社会を構築するために何ができるかを一緒に考える

受入可能人数 最大60人 ※別途調整
所要時間 120~180分程度 ※別途調整

本学は研究成果を地域の場で活かす地域連携にも力を入れており、本学が研究フィールドとしている県内3か所、実際にSDGsと関連する研究成果を見ながら学んでいきます。いずれも、歴史的景観、自然を利用した産業といった特徴を有し、地域の盛り上がりという点に問題意識を持っている地域です。持続可能な地域社会を構築するために何ができるかを一緒に考えていきます。下記3か所から選択してフィールドワークを行います。



登米市登米地区

「みやぎの明治村」とも称される登米地区には、明治・大正時代に建てられた、文化財的にも価値の高い建造物が多く存在しており、本学建築学科・中村琢巳研究室では、地域団体や所有者と協力し、これらの建造物の保存活用と、建造物を活かした観光振興、地域活性化に取り組んでいます。今後、歴史的な景観を残しながら地域活性化のためにどのような取組が考えられるでしょうか。

登米市津山地区

津山地区では、豊富な山林資源を基に矢羽クラフト※等を利用した木工芸が盛んで、木工芸品等を主に販売している道の駅「もくもくランド」は地域振興のシンボルです。三陸道延伸の影響により売上額が減少し、木工芸の職人も高齢化が進み、後継者もいません。また令和元年東日本台風により、甚大な被害を受けました。木工芸の産業を持続させ、津山地区の地域活性化を図るために、どういったことができるかを考えます。
※間伐材有効利用の矢羽クラフトは東北工業大学工業意匠学科第三生産技術研究室と共同開発した製品です

石巻市雄勝地区

東日本大震災による甚大な被害を受けた雄勝地区。人口流出や産業の喪失などの様々な課題に対し、本学では「雄勝視」などの雄勝石産業の再生等を通して、復興支援に携わってきました。本学が行ってきた取組を学びつつ、人も産業も持続可能な社会にするためにできることはないかを考えます。

プログラムの流れ(例)

- ◎フィールドワーク: 講話: 60分(現場視察、また現地の方の講話)
- ◎ワークショップ: 90分(対話を主としたワーク)
- ◎発表・まとめ: 30分(それぞれの学びを共有)

■受入可能期間/月～金曜 10:00～16:00(学内行事のため受入不可の期間あり要相談)、休業日:土・日・祝 ■料金/要相談(講師費用、会場費、施設見学費等がかかります。) ■該当市町村/仙台市・登米市・石巻市

45 仙台七夕まつりの歴史と今を学び持続可能な地域の祭りを考える

受入可能人数 15人程度 ※要相談
所要時間 60~120分 ※要相談

伊達政宗公の時代から続く伝統行事として受け継がれる仙台七夕まつり。まつりにかかわる地域の人々との対話を通じて、まつりを様々な観点から学び、仙台七夕まつりや自分たちの住む地域の祭りを未来へと継承することの大切さ、そのためにはどういったことができるかを考えます。【座学・インタビュー・体験】



■受入可能期間/通年 休業日:土・日・祝 ■料金/無料(但し、体験の内容によっては別途諸経費がかかる場合があります。) ■該当市町村/仙台市

46 仙台フィルから学ぶ音楽と人とのかわり

受入可能人数 プログラム1 最大20人程度 (20人以上ご希望の場合はご相談ください)
プログラム2 最大5人程度
所要時間 プログラム1 150~180分程度
プログラム2 90分程度

仙台フィルハーモニー管弦楽団は「楽都仙台」を拠点に活動しているプロのオーケストラです。年9公演の定期演奏会をはじめ、仙台国際音楽コンクールのホストオーケストラや文化庁による全国小中学校での巡回公演など、年100回を超える活動を行っています。東日本大震災ではオーケストラも被災しましたが、避難所や仮設住宅等を訪問し復興コンサートを行ってきました。現在も、被災された方のもとに音楽を届けながら絆をつなぐ活動を続けています。また、障害をお持ちの方を対象としたコンサートや0歳から体験できるコンサートなど、普段演奏会へ足を運ぶことが難しい方たちへ音楽を届ける取り組みも行っています。



仙台フィルハーモニー管弦楽団 SENDAI PHILHARMONIC ORCHESTRA



リハーサル見学



オーケストラ講座

【プログラム1】

リハーサル見学+オーケストラ講座

- 1.リハーサル見学レクチャー(約20分)
- 2.リハーサル見学(約1時間)
- 3.オーケストラ講座(約1時間30分)

【プログラム2】

オーケストラ講座+事務局員インタビュー

- 1.オーケストラ講座(約1時間)
 - 2.事務局員内見学、事務局員インタビュー(約30分)
- ※日程によって実施可能なプログラムが変わります。詳細はお問合せください。
(オーケストラ講座)オーケストラの基礎や演奏会を支える事務局の仕事、震災後の仙台フィルの活動などをお話いたします。(ご希望によって内容を検討いたします)
■受入可能期間/お問合せください ■料金/無料(講座実施にあたり別会場が必要な場合は会場費がかかります) ■該当市町村/仙台市

47 多くの本や様々な講座を通して環境について学ぶ

受入可能人数 140人まで 所要時間 60分程度

せんだい環境学習館たまきさんサロンは、東北大学青葉山新キャンパス内にある仙台市の環境学習施設です。環境に関する図書(約3,000冊)や様々な講座を通して、環境について学ぶことができます。たまきさんサロン(または東北大学講義室)で受けることができる講座は、以下に掲載しているもの他、Webサイトでも紹介しています。



1 世界の水問題

人の生活には水が不可欠です。例えば、飲み水は1人当たり1日2~3リットル必要ですが、お風呂、トイレ、炊事、洗濯などには1人当たり1日200リットル以上使われています。これだけ大量の水をどのように準備しているのでしょうか?私たちの暮らしや身近な例を題材に、世界の水問題を解説します。

2 川の生き物や環境に関する授業

広瀬川の環境や、広瀬川をはじめとする宮城県河川に生息するサケやアユ、サクラマスといった川魚の生態や、釣り方などの利活用方法を紹介します。また東日本大震災で被災した、仙台市沿岸域の野生メダカの保全の取り組みについても紹介します。

3 生物多様性ってなに

生物多様性の意味や、生物多様性保全(生物多様性を守ること)がなぜ大切なのかを説明します。また、仙台市の生物多様性の大切さを知っていただくための取り組みを紹介します。仙台にゆかりのある生きものの姿を通して、その魅力や大切さを感じてみませんか?

■受入可能期間/受講を希望する講座によって異なりますので、ご相談ください ■料金/市内団体は原則無料(市外団体は応相談) ■該当市町村/仙台市

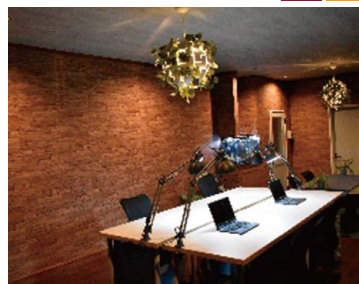
Webサイトはこちらからご覧ください



48 老朽化した建物改修工事を通じ、住み続けられるまちづくり・働きがい・環境問題・地域防犯等を学ぶ

受入可能人数 1~10人 所要時間 120分

◎多種多様な工種の建設職人を配備する事で、多能工化(教え合う)を促進でき、働きがい向上にも繋げる事ができます。また、経営に関する事を教える事で、価値観の多様化にも繋がることを学びます。
◎当社には「見守り職人110番」という地域社会に対する防犯貢献活動を行っております。工事をしながら地域の防犯活動にも協力するという取り組みを学びます。(不審者への対処・怪我人の救護、高齢者への配慮)
◎地域で定期的な地域清掃活動も行い、クリーンで安心して住み続けられるまちづくりに貢献している姿を学びます。
◎座学で強く発信したい内容(考え方) 企業として健全な事業展開を行いながら、同時に社会問題を解決するようなアプローチをする事が重要であり、それが持続可能な社会創りに貢献すると共に、結果的に企業の永続的な経営にも繋がります。今回のプログラムでは、社会問題を中心としたアプローチだけでなく、企業としての根本的な事業デザインへの考え方にも言及し、スタートアップ企業としての持続可能な経営や開発目標達成までの道のりについて、お話しできればと思います。



座学について

上記にある、強く発信したい内容(考え方)についてお話しします。

体験について

近場で工事中の一般戸建に移動し、防犯活動の見学や、地域クリーン活動大作戦を体験してもらいます。(地域清掃活動)
■受入可能期間/3~12月(冬季は工事ストップとなるため)、休業日:日・祝
■料金/無料 ■該当市町村/仙台市 周辺工事現場

50 自然環境を守るために、動物たちから学び考える

八木山動物公園は、仙台市内に位置する東北最大級の動物園で、115種約600点の動物を飼育・展示しています。当園で働く飼育員や獣医師から話を聞くことができる学習プログラムなどを実施し、教育活動にも力を入れています。当園で受けることのできる講義には以下のようなものがあります。 ※以下のプログラムの所要時間は、プログラムの実施にかかる時間のみを記載しています。プログラムの他に園内をご覧になる場合には、目安として1~2時間程度かかります。

- 受入可能期間/1①10月中旬~2月中旬(八木山動物園での活動単独の場合は通年) ②通年(先着順) ③通年(先着順)、休園日:水曜日(祝日の場合は翌木曜日)・年末年始を除く
- 料金/無料※別途入園料が必要となる場合があります
- 該当市町村/仙台市(①の②のみ大崎市との連携)

1 シジュウカラガン野生復帰プロジェクト

受入可能人数 30人程度
所要時間 ①60~90分程度(八木山動物公園) ②60~120分程度(蕪栗沼・化女沼)

当園が取り組んだシジュウカラガン羽数回復事業を通じて、宮城県が国内でも有数の渡り鳥の飛来地であることを知り、地域の自然環境の大切さを学びます。また、野生動物の生息地とつながりを持ち、身近な自然を守るために自分たちができることを考えます。



- ①八木山動物公園での活動【座学・フィールドワーク(見学・観察)】
- ②蕪栗沼・化女沼での活動※大崎市との連携となります(ガイドブックP.40参照/受入可能期間10月中旬~2月中旬)

49 混ぜればゴミ、分ければ資源を合言葉に資源の再利用を学ぶ

受入可能人数 60人(20人×3グループ)
所要時間 約2時間(中間処理場1.5時間、最終処分場・高度水処理施設0.5時間)

私たちの中間処理場は、敷地面積2万2853平方メートル、施設規模は延べ8020平方メートルの大規模な施設です。選別処理施設、木くず再資源化施設、廃石膏ボード再資源化施設、廃プラスチック燃料化施設はすべて全天候に対応しています。 私たちはリサイクル技術を研究し、最終処分場で埋め立てられる廃棄物の削減に努めています。「混ぜればゴミ、分ければ資源」という言葉を実践し、徹底的な分別で資源の再利用を促進します。 最終処分場は、埋立面積166,000平方メートルで、雨水は遮水シートによって地下浸透することなく高度な浄化システムで処理した後、河川へ放流されます。



また、災害廃棄物処理支援ネットワークの一員として大規模災害への対応、農業生産法人経営による地産地消、広瀬川清掃や1万本の桜の植林事業、地元自治体の清掃や雇事への参加等の地域貢献や水環境の保全にも寄与しています。

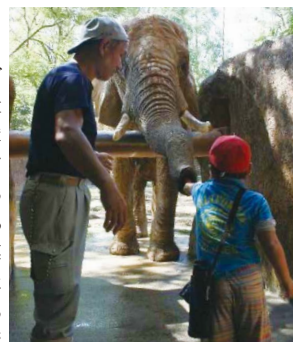
【中間処理場・最終処分場・高度水処理施設(説明・見学・質疑応答)】

- 受入可能期間/平日(お問い合わせください)、休業日:日・祝
- 料金/無料
- 該当市町村/仙台市 仙台環境開発株式会社

2 アフリカゾウが自然界で担う役割

受入可能人数 30人程度
所要時間 全2回 各回60分程度

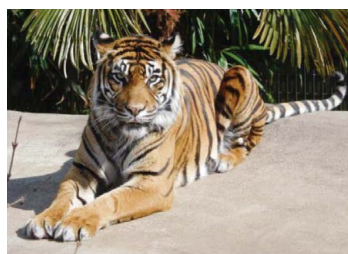
陸上で最も大きな哺乳類であるアフリカゾウ。彼らの住むアフリカの森では、ゾウが大量の植物を食べ、移動した先でその種が糞に混じって出てくることで新しい芽が生えてきます。この自然界でのサイクルを体感するため、動物園にいるアフリカゾウの糞で作った堆肥を利用して野菜を育て、育てた野菜をアフリカゾウに与えます。一連の体験をとおして、アフリカゾウが自然界で担っている役割や、ゾウの生息数が減ることによる影響について学ぶと同時に、動物を保全することの意義について考えます。【座学・フィールドワーク(堆肥作り)※野菜畑は参加される方がご準備ください。プランターでも可】



3 スマトラトラを絶滅から救う

受入可能人数 30人程度
所要時間 60分程度

世界には絶滅の危機に瀕している動物があり、その多くは人間の活動による影響で数を減らしています。スマトラトラを例にとり、どのような原因で絶滅に瀕しているのかを紹介し、絶滅危惧種を救うために私たちができることを一緒に考えます。また、動物園は「種の保存」という役割を担い、希少動物を繁殖させ数を増やす取り組みを行っています。繁殖が難しい動物に対してどのような試みを行っているのか、また人工哺育の実際についても紹介します。日本から離れた遠い場所に生息している動物に私たちが及ぼす影響と、私たちができることについて考えます。【座学・フィールドワーク(観察および解説)】



51 リコージャパン株式会社 宮城支社
51 価値あるオフィスへのチャレンジ

受入可能人数 **最大10名**
 所要時間 **90分**

私たちリコーはSDGsを経営の中心に据え、デジタルサービスの提案を通じて「世の中の役に立つ新しい価値を生み出し、生活の質の向上と持続可能な社会づくりに責任を果たす」ことを使命としている企業です。「価値あるオフィスへのチャレンジ」をテーマに、働きがいや経済成長に繋がる社内実践を座学とオフィス見学でご紹介します。

■受入可能期間/通年、休業日:土・日・祝日 ■料金/無料
 ■該当市町村/仙台市

一般社団法人ReRoots
52 10年後の農業は持続しているのか? 食を支える農村の未来を考える

受入可能人数 **30名・80名程度**
 所要時間 **75~210分**

東日本大震災の津波被害を受けた仙台市若林区沿岸部。大学生が中心となって、被災地が直面する課題と向き合い、地域づくりにチャレンジする事例を学びます。「復興のシンボル」である稲わらを活用した作品づくりを体験し、課題解決にかかわる人たちの思い、農作物を生産する価値や努力、自分たちの住んでいる地域の魅力や課題を発見し、未来を見据えた社会づくりを考えます。【基本:座学・体験】【オプション:荒浜地区の視察(90分)】

■受入可能期間/年末年始・お盆以外※会場利用施設が休業日の場合は他の施設でも可 ■料金/400円(1人) ■該当市町村/仙台市

NPO法人海族DMC
55 持続的な観光業促進と気候変動で急変する海や川の危険・海洋汚染について学ぶ

1 雇用創出・地方の文化振興・産品販促に繋がる持続可能な観光業促進について学ぶ

受入可能人数 **10~40人**(人数は相談可能)
 所要時間 **2時間**

地方創成と地域発展とは何か?
 交流人口拡大が復興の象徴と考え、年間3000人以上の誘客に成功した戦略や実績の振り返りや何故、雇用創出・地方の文化促進・産品販促に繋がる持続可能な観光業を促進に努めるのか!の講話と体験を通して学ぶ。

【代表の講話・体験】
 ■受入可能期間/通年(事前予約制)
 ■料金/1団体50,000円(税別)
 ■該当市町村/亶理町 荒浜地区

2 気候変動で急変する海や川 人の水辺に潜む危険について学ぶ

受入可能人数 **10~40人**(人数は相談可能)
 所要時間 **2時間**

海辺の安全講習
 水の危険に巻き込まれた場合の対処法や救助法についての学びやレスキュー船での救助するまでの流れを見学(代表生徒が救助される側・救助する側の体験も可)。

【レクチャー・フィールドワーク・まとめ】
 レクチャー(海辺の安全教室)、フィールドワーク(海難体験・救助体験など)、各グループ発表
 ■受入可能期間/通年(事前予約制)
 ■料金/3,000円(1人)(税別)
 ■該当市町村/亶理町 荒浜地区

尚綱学院大学
53 里山再生プロジェクトを通じ参加者同士の交流・コミュニケーションを学ぶ

受入可能人数 **20人程度**
 所要時間 **3時間程度**(座学60分、体験120分)

I.座学(11:00~12:00)
 里山再生プロジェクト~SDGsの達成に向けて行動する「地域市民」を育て、持続可能な地域社会の構築に貢献するために~

II.体験プログラム(13:00~15:00)
 尚綱の森で自然に親しみながら心身を育む遊びを体験する。過去の実施例:フィールド紹介・散策、伐倒見学、まき割り、丸太切り競争等

■受入可能期間/毎月第2土曜日(里山再生プロジェクトの定例活動日)
 ■料金/500円(保険代、その他) ■該当市町村/名取市

宮城県農業高等学校
54 高校生が紡ぐ ICTを使用した被災地語り部

受入可能人数 **40人程度**
 所要時間 **1~2時間**

タブレットとスマホを利用した次世代紙芝居により分かりやすい語り部を行います。

①あなたにとって大切な ②生き残る事の大切さ
 ③身近で起こりうる災害 ④防災の発表の順で探究学習を行えるプログラムになっています。防災について自ら考え学ぶことはもちろん、自分の意見を伝えることを身に付けることができます。

■受入可能期間/土日祝日または夏休みなど、生徒の授業に影響がない日
 ■料金/無料 ■該当市町村/名取市

3 海洋ゴミについてや 海洋汚染防止について学ぶ

受入可能人数 **10~40人**(人数は相談可能)
 所要時間 **120分**

海を取り巻く現状と課題
 鳥の海や荒浜地区において、どの程度の海洋汚染が存在し、それが海の生態系や我々にどのような影響を及ぼしているか等を考察する。

【フィールドワーク・まとめ】
 フィールドワーク(ごみの投げ入れ、回収体験)カヌーや海ゴミ拾い(グループ毎に点数計算)、各グループ発表
 ■受入可能期間/通年(事前予約制) ■料金/2,000円(1人)(税別)
 ■該当市町村/亶理町 荒浜地区

国営みちのく杜の湖畔公園(略称:みちのく公園)
56 「公園とSDGs」を学ぶ

受入可能人数 **最大60人程度**
 所要時間 **2時間以内**

公園の維持管理運営業務を通して、
 ・エコキャンプみちのく内で出るゴミの分別・リサイクルへの取り組みについて
 ・多くの方がセルフで楽しめるプログラムや健康増進など公園や地域の資源をいかした企画について
 ・快適なパークライフを支える利用サービスについて
 ・公園の豊かな自然資源を保全・育成し美しい空間を演出する植物管理 上記のような内容を分かりやすく「公園とSDGs」について、プログラムをご用意。

■受入可能期間/休園日 12/31・1/1 及び季節により火曜日休園
 ※エコキャンプみちのくをご利用の場合 4/1~11/30 まで利用可(休園日を除く)
 ■料金/資料代として200円(1人) ※入園料金(小中学生無料)が別途必要
 ■該当市町村/川崎町 国営みちのく杜の湖畔公園・エコキャンプみちのく

蔵王ジオパーク構想 蔵王町環境政策課ジオパーク推進室
59 蔵王山麓の自然環境と 住民主導型地域づくりを学ぶ

受入可能人数 **100人程度**(超える場合は応相談) 所要時間 **30~360分**

1 動く大地との共生、防災・減災、地球温暖化対策の必要性を学ぶ

◎「蔵王連峰について」「蔵王火山について」
 蔵王山麓の大地や自然、山岳信仰など蔵王の山にまつわる事を解説
 ◎「奇跡のモンスター「樹氷」」
 樹氷に関する解説※体験は、別途雪上車料金が必要
 ◎「蔵王の自然~蔵王の生物多様性~」
 蔵王の自然環境について解説※登山については、別途山岳ガイド料が必要
 ◎「ジオレク・ジオサイエンスで遊ぼう」
 大地や自然にまつわるレクリエーションや実験を通して楽しみながら学ぶ
 【座学・フィールドワーク】
 ◎「動く大地と共に生きる」火山の特性や火山災害に対する防災減災対策、その一方でもたらされる火山の恵みについて解説
 【座学・見学】

2 大地がはぐくむ自然と水の関係性や大切さを学ぶ

◎「流れる水の働き~蔵王の水はどこへゆく~」
 理科の単元学習と併せて、蔵王がはぐくむ水のゆくえをたどる
 【座学・フィールドワーク】

3 住民主導型の地域づくり、新たな価値の創出の方法、地域づくりのためのパートナーシップについて学ぶ

◎「蔵王で取組むジオパーク構想について」まちづくりの施策であるジオパーク構想に関する解説と地域資源の活用方法の紹介
 ◎「蔵王の歴史と産業」蔵王の成り立ちとそれに伴う産業の興りについて解説

NPO法人川崎町・学校サポートネットワーク
57 茶作り体験を通して、地元の眠れる資源での持続可能な地域活性化を学ぶ

受入可能人数 **8人程度**
 所要時間 **180分**

仙台市と山形市の中間にある川崎町では、今から130年程前にお茶作りをしていました。その後、使われずに放っておかれていました。そんな、地方の未利用資源を、町の魅力を伝える資源に換えていきます。地域の人を巻き込みながら行う、持続可能な地域活性化について学びます。実際にお茶作りから飲むところまで、体験していただきます。

■受入可能期間/4~10月 休業日:不定期
 ■料金/3,000円 ■該当市町村/川崎町

一般財団法人蔵王酪農センター
58 地域資源を活用した循環型畜産を学ぶ

受入可能人数 **10~40人**
 所要時間 **120分**

爽健美茶を作る時に出る「茶殻」と蔵王チーズを作る時に出る「乳清」を有効利用したエサ(エコフィード)を食べて育った「蔵王爽清牛」について、牛舎を見学し餌やり体験をすることで地域資源の循環を学んでいきます。体験の後には、蔵王爽清牛の「牛井」を食べて、「いただきます」の意味を実感してもらいます。
 【座学・牛舎見学・餌やり・食事】

■受入可能期間/4月~11月
 ■料金/1,500円(食事代+体験料) 事前予約要 ■該当市町村/蔵王町

59 蔵王山麓の自然環境と 住民主導型地域づくりを学ぶ

全プログラム共通
 ■受入可能期間/通年、休業日:土・日・祝(ただし、相談により対応出来る場合有り)
 ■料金/応相談(ガイド料等)
 ■該当市町村/蔵王町

60 **リサイクルや水資源保護の取り組み・資源を有効活用した循環型社会を学ぶ**

コカ・コーラ ボトラーズジャパン 蔵王工場見学

受入可能人数 2人～
所要時間 約50分

リサイクルの取り組みや製造工場水源地での森を守る活動、また資源を有効活用した循環型社会を目指す地域社会との共同の取り組みなど、見学スタッフがわかりやすく説明しております。そのほか、持続可能な開発目標(SDGs)との関わりを検証し、社会課題の解決に向けて様々な取り組みを進めております。※詳しい説明をご要望の際には、予約時にスタッフにご相談願います。

■受入可能期間/毎週月曜日～金曜日・祝日(工場休業日除く)
①10:30、②13:00、③14:30、休業日:土・日(月に一度、土曜日開催あり)
■料金/無料 ■該当市町村/蔵王町

61 **卵に違いってあるの?から見る、生産者と土地の顔**

有限会社 竹鶏ファーム

受入可能人数 10人まで
所要時間 30～60分

当たり前存在している卵も、土地資源や餌のこだわりを持って生産されています。竹鶏ファームの名前の由来にもなった「竹・竹炭」のお話を通して「鶏」「農業」「環境」「食」について一緒に考えます。【座学・ミニ体験(卵の食べ比べ、または竹炭の効能を体感いただけるミニ実験)】※鶏舎見学は鶏インフルエンザ対策で禁止のため映像か口頭で案内。

■受入可能期間/通年 ■料金/体験料として500円
■該当市町村/白石市

62 **竹あかりワークショップ**

(一財)丸森町観光物産振興公社

受入可能人数 10～35人
所要時間 約120分

宮城県丸森町は竹林が多く存在したケノコの名産地ですが、その一方で竹林整備、放置竹という課題がある。竹は繁殖能力が高く、放置をすると阿武隈川の景観や竹材そのものが川に流れ河川ゴミとなり、海洋環境にも影響が出ます。竹林整備・清掃を通し本来不必要な竹ゴミを「あかりワークショップ」を通して持続可能な商品化を目指します。

丸森町固有資源である竹を活用した「竹あかり」を作ります。デザイン紙を竹に貼り付けます。そのデザインをドリルで穴を明け、デザイン紙を剥がし、切り屑をきれいに取り除きます。簡易ライトの中に入れて完成!!旅行の思い出の一品、お部屋のインテリアやオブジェとしてご利用下さい。また、竹チップ・竹パウダーの力を活用した生ごみコンポストについても学びます。

①竹林清掃:9:30～10:00
雨天の場合は「竹チップコンポスト」講座:循環型資源活用の取り組み/厄介者であった竹材を活用した家庭用生ごみ処理、消臭用竹炭など
②竹あかり制作体験:10:20～12:00
作業説明(デザイン紙貼り付け、ドリル使用、穴あけ順番)・注意事項(サングラス)・作業中に出た竹チップはコンポスト用に再利用される。
循環型資源活用の取り組み/竹あかりワークショップ、記念品として持ち帰り
■受入可能期間/通年、休業日:月(祝日の場合は翌平日)、年末年始
■料金/3,500円(1人) ■申込期限/3ヶ月前 ■該当市町村/丸森町

63 **宮城県の治水事業の歴史と日本一長い運河群**

宮城県土木部河川課

1 **宮城県の治水事業の歴史と未来の川づくりの方向性を学ぶ**

受入可能人数 20人以上 ※受講希望者にて会場等の手配をお願いしています。 所要時間 60分～

これまでの宮城県の治水事業を振り返るとともに、今後のみやぎの川づくりの方向について、みなさんと一緒に考えます。宮城県全域対象に出前講座「みやぎの治水事業」やフィールドワークを通じ、治水の歴史や自然災害から人命・財産・生活防衛について学ぶ【座学・フィールドワーク】

■受入可能期間/平日は10:00～20:00、土日・祝日は10:00～17:00※ただし、業務の都合によりご希望に添えない場合がありますので、あらかじめご了承ください。 ■料金/県職員の派遣費用は無料です。会場使用料や有償の資料をお使いになる場合の資料代は申込者側のご負担となります。
■該当市町村/宮城県全域

3 **日本一長い運河群の歴史・津波の減災効果・復興計画・利活用を学ぶ**

受入可能人数 20人以上 ※受講希望者にて会場等の手配をお願いしています。 所要時間 60分～

江戸時代から明治にかけて造られた、日本一長い運河群(貞山・東名・北上運河)の歴史と、東日本大震災による津波の減災効果、運河沿線の復興計画と利活用状況など分かりやすく説明します。運河群全域対象に出前講座「日本一の長さを有するみやぎの運河群(貞山・東名・北上運河)の歴史と利活用について」やフィールドワークを通じ、歴史・多重防衛・自然環境との調和と共生・持続的な地域間連携などを学ぶ。【座学・フィールドワーク】

■受入可能期間/平日は10:00～20:00、土日・祝日は10:00～17:00※ただし、業務の都合によりご希望に添えない場合がありますので、あらかじめご了承ください。 ■料金/県職員の派遣費用は無料です。会場使用料や有償の資料をお使いになる場合の資料代は申込者側のご負担となります。
■該当市町村/運河群エリア全域(阿武隈川から旧北上川まで49km)

2 **自然災害(水害)から命を守る・洪水に備えるための知識を学ぶ**

受入可能人数 20人以上 ※受講希望者にて会場等の手配をお願いしています。 所要時間 60分～

近年、ゲリラ豪雨の頻発等、雨の降り方が変わってきています。水害から命を守るため、河川に関する防災情報を活用した洪水に備えるための知識等を、分かりやすく説明します。宮城県全域対象に出前講座「水害から命を守るために」やフィールドワークを通じ、自然災害から人命・財産・生活防衛について及び洪水に備える知識を学ぶ【座学・フィールドワーク】

■受入可能期間/平日は10:00～20:00、土日・祝日は10:00～17:00※ただし、業務の都合によりご希望に添えない場合がありますので、あらかじめご了承ください。 ■料金/県職員の派遣費用は無料です。会場使用料や有償の資料をお使いになる場合の資料代は申込者側のご負担となります。
■該当市町村/宮城県全域

64 **宮城県内のラムサール条約湿地と周辺施設**

伊豆沼・内沼、蕪栗沼・周辺水田、化女沼、志津川湾

“ラムサール条約”とは、
国際的に重要な湿地及びそこに生息・生育する動植物の保全等を目的とした条約です。宮城県内では4カ所が条約湿地に登録されており、国際的にも貴重で珍しい場所といえます。日本で2番目に登録された「伊豆沼・内沼」をはじめとした、「蕪栗沼・周辺水田」、「化女沼」は、県北部の直径約10km以内に位置し、毎年、国内に飛来するマガンの約9割が訪れ、国内最大級の越冬地となっています。また、海域としては東北初、「海藻藻場」として国内で初めて登録された「志津川湾」では、“海の森や草原”が見られ、冬には希少なコクガンも訪れます。一方、それぞれの湿地において、生物多様性の劣化や水質の悪化、外来生物の侵入等による自然環境の悪化などの課題が生じており、様々な保全活動が進められています。それぞれに特色ある雄大な自然と多種多様な生きものたちとの触れ合いを通じて、自然と人との関わり方や共生について学ぶことができます。

各エリア共通目標

エリア:伊豆沼・内沼(栗原市エリア)
1 **伊豆沼・内沼周辺の水鳥の生態や水生生物を観察し生態系の保全の重要性を学ぶ**

受入可能人数 30人(10人×3グループ) 所要時間 見学30分・体験2時間～

◎「伊豆沼・内沼」を散策しながら、水鳥の生態を観察しつつ、生態系保全の重要性について学びます。
◎淡水魚や水生昆虫などを採集しながら、豊かな水辺が私たちの稲作や農業を支え私たちの生活や心の豊かさを支えていることを実感できます。
(A)渡り鳥の飛び立ち観察 (B)水生生物の観察・漁師体験
※宮城県伊豆沼・内沼サンクチュアリセンターや栗原市サンクチュアリセンターつきだて館見学もできます。
【目標に沿った座学・フィールドワーク】
■受入可能期間/(A)11月から2月・(B)5月から9月、休業日:月(月曜日祝日の場合は翌日)・年末12/29から12/31 ■料金/無料
■該当市町村/栗原市 伊豆沼・内沼周辺

エリア:伊豆沼・内沼(登米市エリア)
2 **伊豆沼・内沼周辺の歴史・自然環境・農業との関連性を学ぶ**

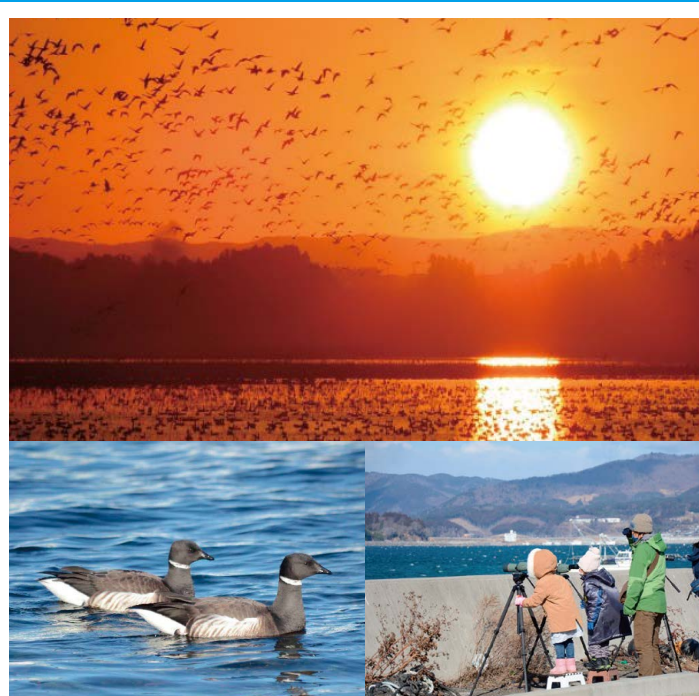
受入可能人数 5～40人 所要時間 90分～

伊豆沼周辺を散策しながら、新田開発の歴史や自然環境(渡り鳥・ハスなどの動植物)と農業との関連性について学びます。目標・ご希望に応じて農業の6次産業化の講話や郷土料理などの食農体験を組み込むことも可能です。※登米市伊豆沼・内沼サンクチュアリセンター見学もできます。
【目標に沿った座学・フィールドワーク】
■受入可能期間/通年、休業日・年末年始(センターは月曜日休み)
■料金/1,100円(ソーセージの試食付き)
■該当市町村/登米市 伊豆沼・内沼周辺

エリア:志津川湾(南三陸町)
4 **コクガンの越冬地、志津川湾の自然環境の特徴を学ぶ**

受入可能人数 応相談(最大40人) 所要時間 2時間～(応相談)

海藻や海草(うみくさ)の藻場が広がり、コクガンの越冬地ともなっているラムサール条約湿地「志津川湾」の自然環境の特徴を、フィールド活動や座学、実際の生物と標本の観察を通じて実感します。
【目標に沿った座学・標本類の見学・体験プログラム(希望内容に応じて決定)】
■受入可能期間/通年、休業日:土・日(要相談)
■料金/無料※実習の教材費やガイド料等が必要になる場合があります。
■該当市町村/南三陸町 戸倉地区志津川湾周辺エリア



エリア:「蕪栗沼・周辺水田」「化女沼」(大崎市)
3 **大崎地域の水田農業の学習とガン類のねぐら入りの観察を通じて、水田農業の営みと共生した水田の生物多様性について学ぶ**

受入可能人数 15人×2グループ(最大人数100人程度) 所要時間 1～3時間

大崎地域では、ねぐらとなる蕪栗沼や化女沼のような大きな沼と餌場となる広大な水田が広がり、持続的に水田農業を行ってきたことから、10万羽を超えるガン類が飛来しています。広大な水田がガン類を支えていることを学びます。
◎観察の注意事項や概要説明【30分】
◎水田で採餌するガン類の観察等【30分】
◎沼でガン類のねぐら入り観察【1時間】(ガイド随伴)
【目標に沿った座学・フィールドワーク】
■受入可能期間/10月中旬から2月中旬(土日祝受入可能)
■料金/無料※ガイド料が別途かかります。
■該当市町村/大崎市 蕪栗沼・周辺水田・化女沼周辺

宮城県教育旅行4つのポイント
暮らし体験プログラム
SDGs 特集
体験・学習施設とプログラム
宿泊施設やバス・乗降サービス
自主研修エリアマップ
アクセス

“日本遺産”とは

文化庁が認定した地域の歴史的な魅力や特色を通じて、日本の文化・伝統を語るストーリーのことで、各地域の魅力あふれる有形・無形の文化財群を、地域が主体となって整備活用し、国内外へ発信することで地域活性化を図ることを目的とした、日本の文化財保護制度の一つです。



宮城県の日本遺産「政宗が育んだ“伊達”な文化」

平成28年度認定
 関係自治体：仙台市・塩竈市・多賀城市・松島町
 構成文化財：登録数51 ※記載文化財以外も紹介可能です。

株式会社松観

1 「政宗が育んだ“伊達”な文化」構成文化財をガイドの解説を通じて学ぶ

受入可能人数 **グループ毎 40人以下×10(ガイド)**

所要時間 **45～70分**



日本遺産の構成文化財である国宝巖蔵寺及び五大堂の専門ガイド団体です。古来より人々の憧れの地となった「松島」の歴史背景や地域資源とのかかわりについて学び、未来継承のための「まちづくり」の在り方について考え、「目標4教育に掲げる質の高い教育」を通じて持続可能な開発目標を養うことが出来ます。【解説・フィールドワーク】

■受入可能期間／通年、8:30～16:00(4～9月)、8:30～15:30(3・10月)、8:30～15:00(2・11月)、8:30～14:30(1・12月)、休業日：無し ■料金／ガイド1名につき4,000円～6,000円(詳細お問合せ下さい) ■該当市町村／松島町 町内周辺

宮城県松島高等学校観光交流プログラム

2 松島高校の生徒と松島の歴史文化・海洋資源・まちづくりなどを学ぶ

受入可能人数 **最大人数200人 (1グループ5人、最大40グループ)**

所要時間 **1時間半～半日※要相談**

本校観光科の生徒達は、授業のカリキュラムの一環として教育旅行生に向けて観光ボランティアガイドを実施しています。本ガイドは、SDGs(持続可能な開発目標)「目標5 ジェンダー平等」「目標11 まちづくり」「目標14 海洋資源」「目標16 平和と公正」等に沿った内容で、フィールドワーク的な要素を加えて実施することが可能です。松島の歴史・文化に触れ、楽しみながら、主体的で対話的な深い学びに繋がるような修学旅行となれば幸いです。松島高校の活動は、松島の歴史背景及び海洋資源の学習、災害時の体験や防災など、観光と地域資源の関わりを学び、実施しているものです。「地域貢献活動にはどういったかたちがあるのか」「その思いは」など、高校生の活動を直に見て・聞いて・体験してください。

■受入可能期間／要相談、年末年始・3月・学校行事がある場合は除く ■料金／無料(別途会場費がかかる場合は実費) ■該当市町村／松島町 町内周辺

仙臺筆筒歴史工芸館

3 江戸末期から発展した仙臺筆筒の歴史や技術に触れる

受入可能人数 **2～8人**

所要時間 **15～30分**



仙臺筆筒は江戸時代の終わり頃から地場産業として発展した、宮城県を代表する伝統的工芸品です。江戸時代末期から現代にかけて製作された仙臺筆筒の展示のほか、江戸時代以来、指物(木工)・漆塗り・金具それぞれの職人が守り続けてきた伝統的工芸技術を紹介した映像を上映しています。江戸時代以来の職人が今に息づく仙臺筆筒の歴史や技術に触れることができます。【座学・見学】

■受入可能期間／通年、休業日：火 ■料金／無料 ■該当市町村／仙台市 ユノメ家具内

みちのくGOLD浪漫—黄金の国ジパング、産金はじまりの地をたどる—令和元年度認定

関係自治体：涌谷町・南三陸町・気仙沼市・石巻市・岩手県平泉町・陸前高田市
 構成文化財：登録数45 ※記載文化財以外も紹介可能です。

1 「みちのくGOLD浪漫」構成文化財をストーリーガイドと共に現地で学ぶ

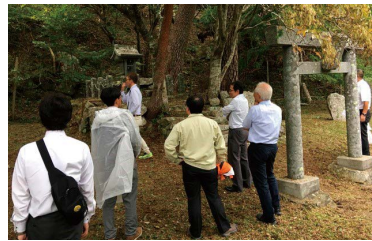
受入可能人数 **20～30人程度**

所要時間 **1時間程度～**



日本遺産「みちのくGOLD浪漫」の構成文化財を現地において、ストーリーガイドを行いながら、「金」という資源をテーマとして、みちのくの自然を基盤として、人々がいかにかかわり、歴史を紡いできたかをお話します。地域資源と共に生きる「みちのく」が支えた日本について学ぶことで、様々な「持続可能性」に対する視点を養うと共に、「志教育」などの私たちと地域の関わりも養うことができます。【構成文化財地域にストーリーガイドを派遣し同行しながら詳細な説明を行う。】

■受入可能期間／年末年始を除き随時、日程調整要 ■料金／ガイドの移動や随行等に伴う実費(平泉観光ガイド除く) ■該当市町村／涌谷町・南三陸町・気仙沼市・石巻市・岩手県平泉町・陸前高田市



天平ろまん館

2 日本初の産金地・東大寺大仏のふるさと・万葉北限の地の歴史を学ぶ

受入可能人数 **10～100人程度※要相談**

所要時間 **歴史館見学30～60分、砂金採り体験30分、国史跡散策30～60分 (ガイドについては要相談)**



「日本初の産金地」「東大寺大仏のふるさと」「万葉北限の地」をテーマとするわくや万葉の里。歴史館見学、砂金採り体験、国史跡散策などを通し、資源と人とのかかわりについて学ぶことで産業と技術革新や、奈良東大寺大仏とのかかわりを通して「世界の文化遺産の保護・保全」について考える視点を養うことができます。【ストーリーガイドと共に、天平ろまん館や黄金山神社周辺を歩いて学ぶ】

■受入可能期間／無休、9:30～17:00(11～3月は16:30) ■料金／歴史館見学50円(小・中・高校生10名以上の団体料金)、砂金採り体験550円(小・中・高校生10名以上の団体料金)、抹茶体験500円(小・中・高校生10名以上の団体料金)、ガイド料別途相談 ■該当市町村／涌谷町 天平ろまん館・黄金山神社周辺

篁峯寺

3 奥州鎮護として営まれてきたお寺の歴史と地域とのかかわり学ぶ

受入可能人数 **20人程度まで※要相談**

所要時間 **見学30～60分程度(ガイドについては要相談) 止観(坐禅)体験60分程度**

1250年「篁岳山」を聖地として護り続けてきた「篁峯寺」。「奥州鎮護」を旨として営まれてきた寺の歴史や地域とのかかわりを知ることで、「質の高い教育をみんなに」「ジェンダー平等」などについて考える視点を養うことができます。また、静かな環境での止観(坐禅)体験などを通じて、自己と世界とのつながりを再認識できます。

【ストーリーガイドとお寺の歴史探訪と止観(坐禅)体験】

■受入可能期間／体験期間：4～11月10:00～15:00(1日前までの事前予約要)、定休日：火曜日、葬儀等により日程を変更していただく場合があります。

■料金／無料(止観(坐禅)体験無料)、ガイド料別途相談 ■該当市町村／涌谷町 篁峯寺



田東山(田東山経塚群)

4 奥州藤原氏が信仰した「田東山経塚群」行者の道を学ぶ



受入可能人数 **最大人数40人程度**

所要時間 **見学・レクチャー30分～行者の道トレイル2時間程度**

日本遺産の「経塚」をはじめ、登山ルートとして残る「行者の道」などには、昔そのままの自然や人々の生活、生業や信仰が共生する姿が色濃く残っている。プログラムを通して、持続可能な開発目標を、考える視点を養うことができます。【ストーリーガイドと共にレクチャーと行者の道トレイル】

■受入可能期間／4～11月頃 ■料金／無料(ガイド料別途相談)

■該当市町村／南三陸町 田東山周辺

大谷鉱山歴史資料館

5 日本屈指の金山の資源と人とのかかわりについて学ぶ

受入可能人数 **20名程度※要相談**

所要時間 **30～60分(ガイドは要相談)**

明治から昭和にかけて日本屈指の金山とした栄えた大谷鉱山。実際に使われていた削岩機やトロッコ、産出された金鉱石のほか、採業の様子や従業員の生活を写した写真などを見学し、「産業と技術革新」や「持続可能な消費や生産」など資源と人とのかかわりについて学ぶことができます。【ストーリーガイドと共に資料館見学と周辺見学】

■受入可能期間／通年、定休日：水曜日・年末年始、10:00～16:00 ■料金／無料(ガイド料別途相談) ■該当市町村／気仙沼市 大谷鉱山歴史資料館

鹿折金山資料館

6 近代日本の国家的資源と人とのかかわりを学ぶ



受入可能人数 **20人程度※要相談**

所要時間 **資料館見学のみ30分、金山ウォーク2時間程度(ガイドについては要相談)**

近代日本の国家的資源となった「モンスターゴールド」の産出について当時の金鉱石、工具、文献などを見学し、「目標9産業と技術革新」や「目標12持続可能な消費や生産」など資源と人とのかかわりについて学ぶことができます。【ストーリーガイドと共に資料館見学と周辺見学(金山ウォーク)】

■受入可能期間／通年、定休日：火曜日・10:00～16:00 ■料金／無料(ガイド料別途相談) ■該当市町村／気仙沼市 鹿折金山資料館周辺

うるし体験工房KURAS

7 平泉に遺るうるしの文化財や金色堂の技術を学ぶ



受入可能人数 **2～40人 所要時間 1時間～1時間30分くらい**

古来より東北の特産である「うるし塗り」を体験しながら、伝統的工芸品「秀衡塗」や平泉に遺されているうるしの文化財や金色堂の技術について学び、「働きがいも経済成長も」、「持続可能な産業化」、「世界文化遺産の保護・保全」を考える視点を養うことができます。【うるしの文化財や金色堂の技術を学びながら「うるし塗り」を行う。】

■受入可能期間／通年、定休日：毎週水曜日、1週間前までに要予約、9:00～15:00、体験作品は工房で乾燥後1週間～2週間後で発送 ■料金／はし・ストラップ・スプーン各4,400円、コースター・銘々皿5,500円(作品送料が別途かかります。)、うるしの勉強会(お土産用の箸付)1,100円 ■該当市町村／岩手県平泉町

平泉観光ガイド

8 理想郷を具現した「中尊寺金色堂」で人々の「浄土」への思いを学ぶ



受入可能人数 **ガイド1人で50人以下まで**

所要時間 **要相談**

平安時代、平和で争いのない理想郷を具現した「中尊寺金色堂」でガイドツアーを通して当時の人々の「浄土」への思いを体験・学習し、「人や国の不平等をなくそう」「世界文化遺産の保護・保全」を考える視点を養うことができます。【ガイドツアーを通じて奥州藤原文化「浄土」への思いを学習します。】

■受入可能期間／無休、8:30～16:30 ■料金／3,300円～6,050円(詳細お問合せ下さい) ■該当市町村／岩手県平泉町 中尊寺エリア

玉乃湯「玉山金山」

9 江戸時代の金鉱資源と人々のかかわりを学ぶ

受入可能人数 **2～9人程度まで※要相談**

所要時間 **1時間30分～2時間**



江戸時代、仙台藩の金山として栄えた「玉山金山」。往時をしのばせる金山ウォークや金鉱石が水晶化した水晶を探すジオ体験を通して、「産業と技術革新」や「持続可能な消費や生産」など資源と人とのかかわりについて学ぶことができます。【ガイドと共に玉山金山遺跡巡り・水晶探し】

■受入可能期間／第1・3土曜日、定休日：火曜日 ■料金／2,400円(ガイド料・入浴料・保険料含む) ■該当市町村／岩手県陸前高田市 玉乃湯周辺遺跡